



だより

2026年9月

児童発達支援事業所「ころころ」

TEL: 053-424-6262

FAX: 053-424-6263

URL: <http://minnanomori.jp/>

Email: korokoro_mori@qc.commufa.jp

ドメイン名が変更しました

自分の気持ちを言えますか？

先日法人の研修で平松知子さんによる「大人も子どもも大切にされる保育と社会に」という講演会がありました。「今」の子育ては、止まらない少子化・不景気・生活苦・ワンオペ・共働き世帯が75%を占めるという現実の中、子どもをおおらかに見られない現状にあるといえます。

さらに自殺する小中高生が増加している背景には“感情が育っていない”ことも関与しているのだそうです。感情を言語化できないために人に話したり相談することが面倒になり、3割近くの若者がAIに相談しています。AIは的確にアドバイスをくれたり、思いを聞いてくれますが、実際に助けてはくれません。闇バイトで逮捕された若者の35.6%が自分の気持ちが分からなかったそうです。彼らは自分の気持ちに向き合い、考えていないので犯行にロボットのように簡単に手を染めてしまうのです。被害者の気持ちや周りの人の気持ちも分からない“感情が動かない”子どもたちが増えているという現実には恐怖を感じます。その一つの要因として、スマホの接触時間と語彙力不足の関係性も高いと言われています。

また資本主義が誕生して400年経ち「合理化」が進みました。「今」さえよければ「自分」さえよければいいという視野の狭い利益追求する考え方が、今の社会や子育てに息のしづらさをもたらしめているかもしれません。私たちはそんな現状や子育て世代の親のしんどさに気づき、子どもの幸せと一緒に願い支えていく必要があると感じずにはいられません。

乳幼児期にたくさん子どもの「ねえねえ」を聞いてあげたいです。ちゃんと話を聞いて向き合ってくれた体験が情緒を安定させ、子どものもっと話したい意欲に繋がって語彙力や表現力が育まれます。自分の気持ちに大人が言葉で代弁してあげることでこの“気持ちはこういうことなのか”と理解します。自分の気持ちに気づくと相手の気持ちを想像できます。自分の気持ちと相手は違うことや色々な気持ちがあることを理解していきます。長い目で見るとこの時期はほんの一瞬です。今のこの時期を大切に子どもと向き合い、心を育んでいきたいです。



**来月にころころカフェを開催します。 平日の13:30~14:30
気軽に親御さん同士話せる機会なので ぜひ参加してください。**

あいあいのお知らせ

9月26日（土） <保護者企画>

「段ボールで遊ぼう」

「ぐりとぐらのパンケーキを

作ろう」

☆子どもが入れる段ボールを持ってきてください

